



お知らせ

### サラリーマンの奥さんは 国民年金の手続きを お忘れなく

厚生年金(船員保険を含む)・共済組合の加入者に扶養されている二十歳以上六十歳未満の配偶者(主として専業主婦の皆さん)も、すべて第三号被保険者として国民年金に加入することになっていきます。これは、サラリーマンの奥さんなどにも「自分名義の年金」が受けられるように、新年金制度により発足した制度です。

保険料は、厚生年金や共済組合の制度全体が、まとめて負担するしくみになっていますから、奥さん自身はもちろんです。ご主人の保険料にも変更はありません。保険料を納める代わりに、市町村の国民年金係に届け出て「第三号被保険者」としての確認を受けなくてはなりません。

届け出には時効があり、二年を過ぎた期間については、第三号被保険者として認められなくなり、保険料が納まっていなかった期間とさせていただきます。具体的には、今年の七月末日までに届け出をしない場合、本来、第三号被保険者の期間となるべき昭和六十一年四月から六月までの三ヶ月間が、保険料を納めなかった期間となり、言い換えますと、無資格期間となります。

まだ届け出を済まされていないサラリーマンの奥さんは、今すぐ役場住民課の窓口で手続きをしてください。

### 新潟県警察官 採用試験

新潟県男子警察官A(大学卒)の採用試験が行われます。警察官は職務の特殊性から、給与面等で一般公務員より優遇されています。多数ご応募ください。

- ・ 申込受付期間  
五月二三日(月)から七月一八日(月)まで。
- ・ 受験資格  
昭和三六年四月二日から昭和四二年四月一日までに生まれた男子で、大学を卒業または六四年三月三十一日までに卒業見込みの者。
- ・ 試験(第一次試験)  
・ 期日—七月三十一日(日)
- ・ 場所—新潟県庁
- ・ 内容—教養試験、論文試験、性格試験、身体検査
- ・ 受験手続  
申込用紙の請求及び申込先は、県内の各警察署へ。その他詳しいことにつきましては、最寄りの警察署、駐在所へお問い合わせください。

の新規学卒者を対象とする、求人申込み説明会を開きます。採用計画のある事業所は、この説明会に出席し、早めに求人のお申込みをしてください。



今年から、求人申込み時期が早まりました。中学校・高等学校は六月二十日から、職業訓練校は七月一日から、大学・高専・専修学校は七月十日からです。

■新規学卒者求人申込み説明会  
・ 六月八日(水)午後一時三〇分から  
長岡商工会議所

### みんなで防ごう 土砂災害

六月は土砂災害防止月間

土砂災害(土石流・地すべり・がけ崩れ)は、一瞬のうちに尊い命や財産を奪ってしまいます。長雨が続きときや、大雨のとき、井戸水や湧水の量に変化したり、濁ったとき、土地にき裂、陥没、隆起が生じるとき、このようなときは非常に危険です。「危いな」と思ったら、まず避難をしましょう。また、いつもと違う点やおかしな兆候を見つけたら、すぐに役場建設課(電話、五九一-二三三〇)へ連絡してください。

### バイバイ サヨナライ バイバイ

東竹沢小学校は、児童数二五人。梶金(六人)、木籠(二人)、小松倉(五人)、小千谷市十二平(二人)の四地区から児童たちが通学しています。児童数が少ないため、全学年が複式学級で三学級しかありません。

このため、全校児童たちの仲の良さは抜群。みんなが兄弟のようです。登・下校時は各地区の児童たちが、一年生から六年生までみんながいっしょになって、行き来します。写真は、宇賀地橋で小松倉の

児童たちとサヨナラをする木籠の松井理恵子ちゃん(三年生)と千代子ちゃん(二年生)姉妹。バイバイ、バイバイ、バイバイ、と何回も何回も手を振りながら、別れを惜しんでいました。

# 広報 やまこし

1988 6月 第240号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■6月1日発行



# 働きざかりを いきいきはつらつ

## 総合検診 6月28日 ～7月6日



### 総合検診の内容とそれによってわかる病気

種類	検診項目	対象者	わかる病気
肺がん検診	胸部レントゲン	19歳以上の人	肺がん、肺結核など
	検たん	①50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)600以上の人 ②最近6ヵ月以内に血痰のあった人	肺がん
基本健康診査	検尿	40歳以上の人 ただし職場等で受けている人は除く	腎臓病、糖尿病(疑)
	血圧測定		高血圧、低血圧
	血液検査		高脂血症、肝臓病、貧血、糖尿病その他
	眼底検査		動脈硬化、高血圧、糖尿病
	心電図		高血圧の重症度、心臓肥大、狭心症、心筋梗塞、不整脈、冠状動脈硬化
	その他		肥満、その他、からだ全体の健康状況

### 検診の機会を有効に活用しよう

総合検診の季節がやってきました。近年は健康への関心が高まり、年々受診率も向上してきています。ただ、検診内容の充実ということで、検診項目が多くなり複雑化してきています。

### 肺がん検診が 変わりました

山古志村では昭和五九年から、

当村の総合検診の内容は表のとおりで、これらのひとつひとつがみなさんの健康状態を知るうえで大切な手がかりとなります。検診を受けることで、どんな病気が発見できるのかを知っておくのもよいでしょう。

## 63年度 総合検診日程

月日(曜)	会場	受付		対象者
		9:00~11:30	1:00~2:30	
6月28日(火)	山古志村農協本所	下村、大谷地	上村甲	404
6月29日(水)	山古志村農協本所	上村乙、中外	中下、寺野	
6月30日(木)	虫亀小学校	虫亀1部~5部	虫亀6部~8部	302
7月1日(金)	池谷小学校	池谷、大久保	檜木	178
7月4日(月)	東竹沢小学校	梶金、木籠	小松倉	190
7月5日(火)	村民会館	二丁野、下村	間内平、菖蒲、山中	354
7月6日(水)	村民会館	油夫、桂谷		

※受付時間に遅れないようお願いします。

## マイクروبス 運行日程

▲七月一日(金)池谷小学校行  
・大久保神社前発  
午前9時20分と9時40分  
・檜木上直吉さん宅前発

他の町村に先がけて肺がん検診を実施してきましたが、今回から検診方法や対象者が多少変わりましたのでお知らせします。

■検診対象者  
④ 四〇歳以上で、男性に限定せず女性も含む。  
⑤ 五〇歳以上の男性で、喫煙指数六〇〇以上の人。  
■検診方法  
① レントゲンは年一回とする。

・前記対象者には、レントゲン受付時に問診をとる。  
(問診票はあらかじめ個人通知に添付しますので、必ず記入してきてください)  
・問診の結果、高危険群の人には秋に喀痰検査を実施。  
⑥ 前記対象者に対して、春秋二回レントゲン検査を実施。  
・秋に喀痰検査を実施。

## 停電のお知らせ

- ◎日時 6月17日午前9時~11時30分  
・地区 梶金 木籠 小松倉
- ◎日時 6月17日午後1時30分~4時  
・地区 大久保 池谷 檜木

午後0時50分と1時20分  
▲七月四日(月)東竹沢小学校行  
・梶金仲間商店前発  
午前9時20分  
・木籠松井治二さん宅前発  
午前9時40分と10時  
・小松倉松崎六太郎さん宅前発  
午後0時50分と1時10分  
▲七月五日(火)村民会館行  
・二丁野消防小屋前発  
午前9時20分と10時  
(大内三差路は9時30分と10時10分に通ります)  
・山中小川春雄さん宅前発  
午後0時30分と1時20分  
(間内平等途中の人は道端で待つてください)  
▲七月六日(水)村民会館行  
・青木秀敏さん宅前発  
午前9時20分と9時40分  
(桂谷の人は三差路で待つてください)

## ユアセルフ 健康

中央総合病院  
副院長 杉山一教  
医師 吉川 明

肝臓の働きは大きく分けて代謝解毒、排泄の三つがあります。代謝にはまず、血液中の蛋白の中で最も多く含まれているアルブミンを合成したり、止血に関与する凝固因子を生成する蛋白代謝があります。つぎにグリコーゲンを蓄積し、運動することによって消費されるエネルギーを供給するためグリコーゲンをブドウ糖に合成し身体中の細胞へ送り込む糖代謝があります。さらに脂肪の消化、吸収をつかさどる胆汁を生成、排出するビリルビン代謝があります。解毒作用で最も関心の深いのはアルコールでしょう。アルコールすなわちエタノールは上部小腸から吸収され、門脈を通じて肝臓に到達しますと酵素によって有害なアセトアルデヒドから無害なアセテートとなって体外へ排泄されます。この様な重要な機能をもつ肝臓ですが、近年のように食文化が多様化してきますと食餌の過剰摂取による脂肪肝の招来やアルコール多飲によるアルコール性肝障害

の発現など肝臓の働きが追いつけない事態が多くなっています。肝臓は予備能力の大きな臓器ですので肝硬変など病気が進行した状態でなければ症状はでてきません。代表的な自覚症状として食欲不振、全身倦怠感、黄疸、浮腫(腹水など)が挙げられます。わが国の慢性肝障害の主な原因は肝炎ウイルスと飲酒と言われています。肝炎ウイルスによる場合は輸血を契機とするなど不可抗力な要素がありますがアルコールによる場合は本人の自覚によって防ぐことが可能です。日本酒に換算して毎日5合以上、10年間飲み続けますと高率に肝硬変になると言われています。2合位が適量と思われまます。アルコールに限らず、カロリーの過剰摂取になりがちな昨今です。成人型糖尿病や心筋梗塞など血管障害も増加傾向にあり、疾病が欧米型に近づいている様です。量よりも質に重点をおいた食生活を送るべきでしょう。それが肝臓に限らず種々疾病を予防することになるものと思えます。



## がんから 家庭を守ろう

### 座談会に

診療所 佐藤先生  
中央病院 富所先生

### ご参加ください

近年、山古志村ではがんによる死亡、特に五〇代、六〇代の働きざかりの人の死亡が目立ってきています。

を期待しています。  
お気軽な気持ちで、多くの人がご参加ください。お待ちしております。期日、会場等は次のとおりです。

- ・六月八日(水) 虫亀集落センター
- ・六月一〇日(金) 山古志村農協本所
- ・六月一五日(水) 山古志村農協竹沢支所
- ・六月一七日(金) 間内平等集落センター
- ・六月二二日(水) 池谷小学校
- ・六月二四日(金) 東竹沢小学校
- ・六月二九日(火) 桂谷集落センター

※時間はいずれも、午後八時から一時間位を予定しています。



## 短歌

緑濃きぶなのこずえにおおわれて  
森の小道は薄暗く陰り  
高原の草むす中に咲きほこる  
ピンクのうの花美しきかな  
晴れし日に古き屋敷にたたずめば  
四方の山々みどり美し  
腰低く頭を下げし山吹よ  
今を盛りと咲ううかな  
そよ風と初夏の日はを背にうけて  
心静かに落花生をまく

作者 菖蒲星野チユさん



# 生ゴミ処理が 楽になりました

山古志村でも今年四月から、生ゴミの収集を始めました。都市では生ゴミの収集について、かなり以前から行政のやるべき当然のこととされてきました。当村でも生ゴミ収集について、村民からの要望がなかったわけではありませんが、山間地のため宅地付近に畑があったり、宅地が広い等の自家処理条件に恵まれていたため、道路整備等に比べ比較的村民の要望が少なかったようです。このため、

## 坂牧助役 再任



執務中の坂牧助役

五月九日に六十二年第一回臨時議会が開かれ、坂牧清作さん(種芋原)の助役選任が承認されました。坂牧さんは、今度助役二期目となります。

やや後回しにされた傾向はありますが、ようやく今春から生ゴミの収集が開始されました。し尿、不燃ゴミについてはすでに処理業務が行われており、この度の生ゴミ処理を加えて、村内も最低限の衛生環境が整ったと言えます。

前記のように、当村はゴミの自家処理条件に恵まれています。そのため無雪期間は、住宅密集地以外ゴミ処理はそう苦になりませんでした。しかし、ほんとうに困るのは雪のある期間です。約六カ月にも及ぶ積雪期間のある山古志村に、不燃ゴミは、各家庭で処理計画をうまくやれば、なんとか積雪期間をしのげます。ところが、生ゴミだけはどうしてもなりません。生活している限り、毎日休みなく必ず出ます。まさか何メートルも雪の下の畑を掘るわけにはいきません。やむなく雪の中に捨てていると、雪の降っている間は見えません。ところが、雪が消え始めると大変です。次々と雪に融けた生ゴミが現われてきます。山古志村の冬の雪は白いのですが、春の家の周りの雪はなんともいえない汚らしさです。冬期間時々、人家から離れた道路端の雪の上に、ゴミ



袋が捨てられていることがありました。今度はそういうこともなくなることでしよう。玄関脇にゴミを集積する必要もなくなります。四月から始まった生ゴミ収集ですが、真価を發揮するのは冬でしょう。

生ゴミ収集業務をやっていたら、山古志清掃(田中康博、五十嵐勇、高野勝治)のみならず、青色のゴミ収集車で毎日、村内各地区に設置された三〇カ所のゴミ置場からゴミを収集し、小千谷市時水の処理工場まで運んでいます。ゴミを出すときは、

収集の迷惑にならないようにしてください。散乱しないよう丈夫な袋に入れ、口をしっかり結び、水気の出るものは破れないナイロン袋に入れ水が漏らないように等注意してください。

処理できない生ゴミは、おおいに出してもらってけっこうですが、畑等に還元できる人は、できるだけ自家処理をしていただければ、ありがたいと思います。また燃える紙類やビニール、プラスチック類は出さないようお願いいたします。他に、空カン等がたまに出されていますが、収集しませんので出さ

## 事業主のみなさんへ 育児休業奨励金を ご存じですか

育児休業制度とは

乳幼児をもつ女子労働者が希望した場合、一定の期間仕事を休んで育児に専念したあと、また職場に戻ることができるようにする制度です。

育児休業奨励金

労働省では、この制度が広く普及するよう、一定の要件を満たす育児休業制度を設けた事業主に対して「育児休業奨励金」を支給しています。

金額 中小企業 百万円



要件

○子供が一歳に達するまでの間休業することができ、育児休業制度を、労働協約または就業規則に定めていること。  
○育児休業制度を利用して、労働者の範囲を、身分・職種により著しく限定していないこと。

申請

制度導入後、初めて育児休業を利用した女子労働者(勤続一年以上)が休業を開始した日から三カ月を経過した日から三カ月以内に「婦人少年室」に申請する。  
※詳しくは、新潟婦人少年室へお問い合わせください。(二九五―新潟市川岸町一―五六 電話〇二五―二六六―〇〇四七)



夏至の日の行事をご存じですか? ソラマメのご飯を田の神にあげるとか、夏至に田植えをするのを忌むなどの風習が一部にあるようです。

## 夏至

夏至はご存じのように、六月二十二日ごろで、北半球では太陽の位置が最も高くなり、昼が最も長い日です。太陽が高ければ、この時が最も暑いように思いますが、この時期の日本は梅雨寒むで、天気が悪いため、日照時間の平均も冬至より短いくらいです。それを迎えたという実感がなく、行事なども少ないのかもしれない。

一方ヨーロッパ、とくに北欧では、夏至には、火祭りなどの派手な行事が各地で行われます。占いや言い伝えもいろいろ残っています。

## これは 何の木



五月下旬、村内のあちこちに藤の花が咲いているのが、たいへん目立ちました。毎年咲いていたのかもわかりませんが、今年は特に多く目につくようですが、写真は杉にからまった藤が咲いているようです。(梶金・大久保間)

れた人はお持ち帰りください。  
■月・水・金曜日に収集する地区  
虫亀 桂谷 油夫 山中 間内 平 菖蒲 (午前八時三〇分までに出してください)  
種芋原 大久保 役場 (昼二時までにしてください)  
■火・木・土曜日に収集する地区  
池谷 榎木 木籠 小松倉 梶金 二丁野 下村 (午前八時三〇分までに出してください)  
※祝日、振替休日には収集しません。

## 献血にご協力 ありがとうございました



4月27日の献血で、次の102人からご協力いただきました。(敬称略)

○印は400cc採血者

- |        |       |       |        |
|--------|-------|-------|--------|
| 竹 沢    | 星野信一  | 青木 昇  | 小池 清   |
|        | 川上敏郎  | ○関 幸雄 | ○星野清剛  |
|        | 星野勝利  | 佐藤誠一  | ○高橋武俊  |
|        | 小池五郎作 | 高野勝治  | ○星野要一  |
| ○星野健太郎 | 高野純治  | 子     | ○星野サツ子 |
| 星野フジエ  | 関 稔   | 美     | 佐藤真由美  |
| 星野一三   | 小池順子  | 子     | 星野ミヨ子  |
| ○長島栄一  | 高野千恵子 | 子     | 星野信子   |
| 星野秀雄   | 小川敬子  | 子     | 星野芳英   |
| 小川あや子  | 高野芳枝  | 子     | 星野信子   |

- |     |       |      |      |
|-----|-------|------|------|
| 東竹沢 | 五十嵐与吉 | 五十嵐誠 | 五十嵐博 |
|     | 関 金作  | 小川清一 | 上田清作 |

- |     |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|
| 南 平 | ○畔上 勝 | 青木裕子  | ○斉藤末松 |
|     | 畔上英子  | 斉藤かおる |       |

- |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 種芋原   | ○坂牧広志  | ○米岡祐三 | 小川藤雄  |
|       | 坂牧吉太郎  | 金内美佐子 | 草間綾子  |
|       | ○坂牧雅良  | ○樺沢久孝 | 坂牧イミ  |
|       | ○樺沢恵子  | 樺沢勝男  | ○山内義雄 |
|       | 長谷川美恵子 | 山口 博  | 小川英夫  |
| ○佐藤幸夫 | 金内徳栄   | 小川光正  | 小川久   |
| 樺沢増次  | 小川広一   | 樺沢 久  | 須佐タツ子 |
| 小川勇二  | 小川英幸   | ○坂牧忠雄 | 佐藤長子  |
| 坂牧洋子  | 樺沢増弘   | 坂牧久美子 | 金内靖子  |
| 坂牧真由美 | 金内由香里  | 坂牧多加子 | 金内靖子  |
| 小川正枝  | 金内直子   | 坂牧多加子 | 小幡清美  |
| 小川春美  | 坂牧多加子  | 樺沢美由紀 |       |
| 樺沢政子  | 樺沢美由紀  | 小川作男  |       |
| 小川かおる | 小川作男   |       |       |

- |     |        |       |       |
|-----|--------|-------|-------|
| 虫 亀 | 峰村 功   | 田中康博  | ○酒井一郎 |
|     | 若槻 敬   | 長島世津子 | ○佐藤丈平 |
|     | ○五十嵐洋子 | 西原たき子 | 石原里志  |

- |     |       |       |      |
|-----|-------|-------|------|
| 村 外 | ○影山勝広 | 小川美佐子 | 佐藤 敦 |
|     | 坂牧良一  | 片岡貴美代 | 小林梅野 |
|     | 菊入 淳  | 田上紘三郎 | 青木一広 |
|     | 石嘉哲也  | 矢久保一彦 |      |



ところで、六月七日は「計量記念日」です。昭和二十七年六月七日に計量法が公布されたのを記念して設けられたもので、計量思想の徹底などが狙いです。この日は労働者の大臣表彰のほか、各地で、カポチャの重量当てなどの楽しい行事があります。



# よくまあこんなに 空カンが……

## 老人クラブが 道路清掃奉仕

五月九日(月)に、村内五地区の老人クラブが会員総出で、道路のゴミ拾いの奉仕活動を行いました。これは毎年恒例で行われているもので、雪消えとともに道路端に目立つゴミを掃除し、村内の環境美化に協力しようということと始められたものです。

ゴミ袋片手に、道路端の側溝などのゴミを拾いながら歩きます。主なゴミは空カンです。ビン類も



## 普及所から 農改コーナー

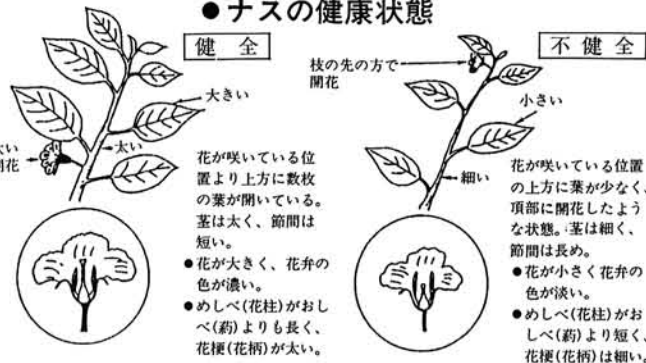
### 稲・田植後の初期管理

- ①水管理**  
田植直後は、苗が活着するまで一週間位5cm程度の深水管理とし、保温につとめ活着を早める。  
活着したら二―三cmの浅水管理とし、太陽光線を株元まであて地温の上昇を図り、分けつの発生を促進させる。  
除草剤散布後は、四―五日間四―五cmの深水とし、水は移動させない。
- ②中耕**  
地温が上ると、土壌中の有機物が分離して有毒ガスが発生します。除草機をころがしてガスを排除し、根張りや分けつを促進させる。
- ③除草剤散布**  
散布に当たっては、ムラや重ねまきがないよう平均に散布する。ま

あります。ゴミ袋はすぐいっぱいになります。一人がいくつくらいづつ拾ったのでしょうか。村内全部では、相当な数になるでしょう。よくまあこんなに……と思うほど空カンが落ちていたようです。

## 畑・果菜類の健康診断と 肥培管理

### ①花の咲きぐあいでの生育診断を



### ●ナスの健康状態

不健全な状態なら、果実はなるべく小さいうちに収穫し、早速追肥をしてやる必要があります。

②追肥は根の先端付近へ施します。施肥料は一株当たり、化成肥料をスプーンに軽く一杯位とします。

た、散布後は田面が出ないように注意する。

日中の気温が二八度以上のときは、葉害の恐れがあるので、気温の下った夕方に散布する。

与えたら軽く土と混ぜておきましょう。トマトは果実がピンポン玉大、スイカは茶ワン大に肥大したころ、追肥をしてください。早く肥料が効きすぎると、いつまでも着果しません。

③薬剤散布は、早めに行います。生育が旺盛になるころ、下位の黄化葉は病害の多発を招くので取り除きます。害虫は少し発生したら、手で捕殺してください。

(三古農業改良普及所長岡班)

## 今年は 錦鯉の景気が 良さそうだ！

山古志漁協が四月二十八日に、当歳立で鯉品評会と競売会を開きました。これは数年前から種苗センターでの越冬鯉を主に行ってきたものですが、今年も出品数、売上金額とも大幅に伸びました。出

## 山古志村に 湖が出現

池谷地区の下を流れている芋川に堰堤があります。ふだん川はこの堰堤の中間口から流れ落ちていきます。しかし一たんこの中間口が詰まると、大きな湖が出現します。写真をご覧ください。どれ位の面積に見えますか。推定二―五haと思われませんが、この湖には、ど



かから流れてきた錦鯉が、大きくなって泳いでいます。



品は一九五袋(二―二尾入、昨年は一五〇袋)。売上金額は約三六〇万円(昨年は二六〇万円)。一袋当り平均価格は約一八、〇〇〇円(昨年は約一一、〇〇〇円)。

漁協組合長関さんの話によると、「昨年夏の天候が良く当歳鯉の出来が良かったのと、景気が上向ってきたのが重なり、このような好結果となったでしょう」とのこと。今年は錦鯉の景気が良さそうです。

## 種芋原の生活誌 むかしの思い出

### 発刊

種芋原の高齢者で組織している「種芋原生きがあるむらづくり推進委員会」(会長・佐藤比呂吉さん)が、普及所と村の協力を得て、生活誌「むかしの思い出」を発刊いたしました。

これは、古老の人たちが見てきた戦前、戦後の生活、文化や伝説を「思い出」として記し、現在の生活との違いを多くの人たちに知ってもらおうという願いで作られたものです。

この「むかしの思い出」は、五〇ページ程の写真入りで、一冊五〇〇円で頒布しています。希望者

## 昔の米作り

### 風間友一

昔は、佐藤比呂吉さんへどうぞ。その中から「昔の米作り」と題した、風間友一さんの思い出を紹介いたします。

農は国家の大本なりと言われ、昔の人は百姓のおかげで生きて行くことが出来ると信じられ、本当に農業ほどたのしい職業はなかった。

長い冬も過ぎ、春暖かく杉の花も飛び散って白い雪が黄色になったころ、杉の枝打ち、ゴロ切り、



薪切りも終り八十八夜が来るとスジ(種籾)を下ろし、二週間位で雪の早く消える田を苗代とした。

昔は化学肥料なんて夢にも見られなかった。遠い人ほど人糞をタ

ルに詰め、三十樽も五十樽も運び田全面に振りまき、土と良く掻き混ぜて平らにし、水を張り上からパラパラと糞を蒔いた。

そのころ、ドロ虫がたかって芽が出ないことがある。今のよう

細く切って田の全面に振り撒き肥料とし、その間に苗を植えた。

その草が腐ったころ、蚕が終って田の草取りが始まる。七月二十日の棚払いまでに、三番草まで(三回)草取りをした。

夏は草刈、堆肥作りが仕事。牛馬を使って毎日毎日草刈りをした。種芋原は草が少ないので、半蔵金や檜吉の山を買って、一里もあるところから草を干して運んで堆肥を作った。村の共有地は、土用が開いた日に、村内一斉に草刈りをした。夜中暗いうちに山に登り、明かるとなくなった草はなくなっていた。

昔の稲は、愛国、リンパ、名山、亀尾、ゼンシチモチ、三ゼンモチなどがあつた。長い藁を取るために作った稲も何種類かあつた。

昔の人は、米とみそ以外に栄養をとることを知らなかった。米をたくさん食べたことは言うまでもなく、一人当り四―五俵を飯用としていた。普通の家でも一年に三十俵、大家族は五十俵も食べた。村の中で取れた米は、大部分村で食べた。

大正末期になって初めて金肥ができ、少しづつ売出すようになった。昭和九年の凶作の時、村中で食べる米が取れず、県から何百俵も借りて食べたこともあつた。これは十年間で返済した。



▲夫婦そろって苗とり(虫亀)



▲ゼンマイ干し風景(山中)